

## 本号の内容

### 1. 活動報告

---

- (1) 全国社会福祉法人経営青年会  
専門講座（第2回）を開催  
～“職場のチームワークを高める手法”とは～
- (2) 関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人経営青年会  
総会・研修会を開催
- (3) 茨城県社会福祉法人経営青年会  
第2回セミナーを開催  
～自法人の発展に向け、知識を共有～
- (4) 佐賀県社会福祉法人経営青年会  
総会・研修会を開催  
～法人を守る緊急事態への備え～
- (5) 全国社会福祉法人経営青年会  
本年度事業の進捗状況および来年度事業計画について

### 2. 研修会等のご案内

---

- (1) 京都府社会福祉法人経営青年会  
総会および第2回定例勉強会を開催します
- (2) 第44回国際福祉機器展 H.C.R.2017セミナー  
「福祉施設の実践事例発表  
～役立つ活かせる実践研究 工夫とアイデア」発表事例を募集します！

### コラム

---

(埼玉県) 社会福祉法人 邑元会 常務理事 神戸 章

# 1. 活動報告

## （１）全国社会福祉法人経営青年会

### 体験から学ぶ“職場のチームワークを高める手法”とは

平成29年2月16日（木）～17日（金）、TFTビル（東京都江東区）において「職場で活かせるチームビルディング研修～体験から学ぶ“職場のチームワークを高める手法”～」と題し、44名の参加者のもと専門講座（第2回）を開催しました。

本講座では、受講者同士でチームを組み、体を動かしながら研修内容を体験することで法人としての一体感や法人を構成するひとりひとりのメンバーがまとまることの難しさ、また目標を共有することの大切さをあらためて感じることのできる研修内容となっています。また、自法人について受講者自身に整理していただきながら、「自法人ではどのような課題があり、その課題を解決するためにどのような言動が求められているのか」を受講者間でそれぞれ共有しながら行動プランを作成しました。

受講者から、「他法人における課題について考えることで自法人を違う視点から見つめなおすことができた」、「体験型研修への参加は初めてで不安だったが、とても楽しく勉強になった」といった意見を頂戴しました。

全国青年会では来年度以降も「学習定着率が高い」といわれる体験型の研修について、来年度以降も引き続き開催したいと考えております。

今年度開催予定であった全国青年会主催の研修会は、本研修をもって最後となります。今年度開催した研修にご参加いただいた会員のみなさま、ありがとうございました。

来年度以降も会員のみなさまのご期待とご要望に応えられるよう、多種多様な研修を企画してまいります！





## （２）関東甲信越静ブロック社会福祉法人経営青年会 総会・研修会を開催

関東甲信越静ブロック青年会主催の標記総会および研修会が、浅草ビューホテル「祥雲」（東京都台東区）にて参加者、役員ふくめ計166名の参加者を得て開催されました。

2020年に控えた東京オリンピックを意識し、各会員それぞれが未来への希望や展望、そして意思を強く抱きながら積極的に行動していくことで新しい時代の福祉を切り拓くことができることを願い、「未来・創造」というテーマを定めました。

そのテーマに相応しく、本研修では全国青年会 会長 廣江晃氏をはじめ、日本教育再生機構 理事長 八木秀次氏、元東京都知事で作家でもある猪瀬直樹氏、食育のスペシャリストであり元女優の大塚ちか氏、東京都オリンピック・パラリンピック準備局を担当する東京都 矢嶋浩一課長といった、様々な分野において活躍されている方々をお招きしました。

各方面でご活躍の方々の貴重なお話を通して、自身の仕事への取り組みや法人のありかたを一面的ではなく多面的に考える大切さについてあらためて確認することができました。



### （３）茨城県社会福祉法人経営青年会

#### 第2回セミナーを開催

#### ～自法人の発展に向け、知識を共有～

平成29年2月16日（木）、茨城県総合福祉会館（茨城県水戸市）にて茨城県社会福祉法人経営青年会主催のセミナー（第2回）が開催されました。

本セミナーでは、茨城県経営品質協会の理事を務める株式会社ヤマオコーポレーション 代表取締役 鬼澤慎人氏をお招きし、「激しい変化のなかでのチーム作り」をテーマにご講義いただきました。

「自身が考えるいい職場、そしていいチームとは」、「職場の若手職員、中堅職員、ベテラン職員、経営者まで同じ理念を共有できているか」、「法人が目指す方向を統一するにはどのような働きかけが必要なのか」といった鬼澤氏からの問いかけに息をのむ参加者も見受けられました。

続いて、鬼澤氏は理想的な法人の姿に近づくためには、何よりもコミュニケーションが肝であると述べたのち、抽象的な事柄と具体的な事柄、客観的な事実と私的な意見等を区別して会話すること、柔らかな雰囲気となるような言い回しを心がけることが大切であることを教えてくださいました。

この有意義なセミナーを通して、参加者ひとりひとりが様々な視点で自法人について考えることができました。

本セミナーで得た知識や考え方を職場へと持ち帰り、共有を図ることでそれぞれの職場がさらに発展し、地域福祉により一層寄与することを願っております。

全国青年会は、来年度の基礎講座（全国青年会主催）において、鬼澤氏にご講演いただく予定です。

詳細については、来年度以降決まり次第お知らせいたしますので、いましばらくお待ちください。





## （４）佐賀県社会福祉法人経営青年会

### 総会・研修会を開催

#### ～法人を守る緊急事態への備え～

平成29年2月21日（火）、グランデはがくれ（佐賀県佐賀市）にて、佐賀県青年会会員13名、経営協会会員4名の計17名の方々にご参加いただき、標記総会および研修会を開催しました。

全国青年会 地域活動実践委員会 金丸委員による「災害時における事業継続計画（BCP）の策定に向けて」と題した講演に加え、活発なグループ討議が行われました。

自法人でBCPを策定していない参加者から「様々な自然災害に耐えうるBCPの策定の必要性を感じた」といった前向きなご意見をいただく等、自然災害が比較的少ない佐賀県内の法人のみなさまとともに「緊急事態へ備える重要性」をあらためて共有することのできる有意義な研修となりました。

研修後には、情報交換会も行い、各法人での連携を図りながら本研修での学びを活かしていくことを再確認しました。



## （５）全国社会福祉法人経営青年会

### 本年度事業の進捗状況および来年度事業計画について

平成29年2月21日（火）、全社協議室にて第9回幹事会を開催し、第3回委員総会に向け、平成28年度事業進捗状況・決算見込みおよび平成29年度事業計画について協議を行いました。

総務広報委員会、研修企画委員会、社会福祉法人経営検討委員会、地域活動実践委員会の各委員会から所管事業の進捗状況の報告があり、年度末に向けて報告書等のとりまとめについてスケジュール等の確認を行いました。

また、平成29年度事業について、制度の動向や研修会のアンケート等を通して挙げられた会員のみなさまのご意見をもとに、今後の法人運営のありかたについて意見交換を行いました。本会では、今年度の事業計画として、平成28年度からの5年度間で会員数3,000人の実現を掲げています。2年目となる平成29年度に向けては、会員のニーズを的確に把握し、会員のロイヤリティを高めるような取り組みが必要ではないか、といった課題が提起されました。

本年度事業の進捗状況および次年度事業計画については、平成29年3月3日（金）に開催する第3回委員総会に諮る予定です。また、来年度事業計画等の具体的な内容については、「全国社会福祉法人経営青年会 News No.85」（3月末発送予定）にて、会員のみなさまにあらためてご報告いたします。

## 2. 研修会等のご案内

### (1) 京都府社会福祉法人経営青年会 総会および第2回定例勉強会を開催します

京都府青年会では、社会福祉分野にとどまらず、多方面で活躍されている方々をお招きし、法人の経営・管理に必要な諸テーマについて研究・理解を深め、リーダーとしてあるべき姿を共有することを目的に、多種多様な研修会や勉強会等を開催しております。

平成29年3月9日（木）に開催予定である第2回定例勉強会では、複雑な生活課題を抱え、社会的に孤立しがちな「生活困窮者」に関する問題や制度の動向に加え、「人材確保」に関する課題や解決策に焦点をあて、社会福祉情勢をとりまく喫緊の課題について理解を深めることのできる講義を予定しております。

他の都道府県に所在する法人の方々も参加できますので、ぜひお申し込みください。

詳細については、添付ファイルをご確認ください。

#### <概要>

【開催日】	平成 29 年 3 月 9 日（木）		
【会場】	京都タワーホテル 8F 桜洛の間		
【参加対象】	京都府青年会会員および京都府経営協役職員、社会福祉施設職員 （他の都道府県からも参加可能）		
【参加費】	京都府青年会会員、賛助会員	・・・無料	
	京都府経営協役職員、社会福祉施設職員（他都道府県）、	・・・1,000 円	
【締切】	定員に達し次第、締切		
【申し込み方法】	添付ファイルの様式にご記入の上、京都府青年会事務局に送付		

## (2) 第44回国際福祉機器展 H.C.R.2017セミナー 「福祉施設の実践事例発表 ～役立つ活かせる実践研究 工夫とアイデア」発表事例を募集します！

平成29年9月27日（水）に開催予定である国際福祉機器展では、展示会に来場される多くの福祉施設関係者に優れた実践事例を、自施設における取り組みの参考にしていただき、福祉サービス向上に資することを目的に、創意・工夫がこらされた実践事例を募集しております。詳細について添付ファイルをご確認ください。

たくさんのご応募をお待ちしております。

### <概要>

- 【発表日】 平成29年9月27日（水）午後（予定）
- 【会場】 東京ビッグサイト 会議棟6F
- 【発表時間】 1テーマ20分および質疑応答（予定）
- 【締切】 平成29年5月31日（水）
- 【応募方法】 以下に郵送またはEメール  
一般財団法人保健福祉広報協会（国際福祉機器展事務局）  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
E-mail: [info@hcrjapan.org](mailto:info@hcrjapan.org)

### <募集事例>

- ①福祉施設における医療的支援に関わる取り組み
  - ・ターミナルケア、胃ろう造設後のケア、喀痰吸引、口腔ケア、医療機関との連携など
- ②福祉施設における災害時の危機管理・BCP、被災からの復興に関わる取り組み
  - ・災害に対する危機管理・BCP（事業継続計画）の作成等を通じた災害に強い法人体制づくり、被災から事業再開に至る復興の取り組みなど
- ③介護ロボット・福祉機器の導入事例
  - ・介護ロボット・福祉機器の導入に向けた環境整備、ケアの場面における活用事例など
- ④社会福祉法人が取り組む地域公益事業
  - ・社会福祉法に規定される「社会福祉法人の地域公益事業」にもとづく取り組みなど
- ⑤その他、福祉施設における創意工夫の取り組み

## コラム

### 桃太郎から見るリーダー像

平成29年も2月になり、世界では安倍首相とトランプ米大統領が初の首脳会議を行い、日米同盟と経済関係を強化していく方針を確認する等、今後の日本にも様々な波紋が広がる兆候がある。

私たちの施設でもこの時季、インフルエンザやノロウイルス等の感染症がピークをむかえ、利用者の健康を維持するのはもちろん、職員の健康や業務の組立等、様々な波紋が生じている。

この絶えず押し寄せる波紋は誰が鎮めるのだろうか。

昔話の桃太郎では、桃太郎を中心とした猿・キジ・犬を従え鬼退治に向かう・・・？なぜ、犬猿の仲の代表格である猿と犬を選抜したのか。一説で桃太郎は、裏鬼門に位置する十二支の最強トリオ（申・酉・戌）を選んだ等の所説があるが、チームのトップである桃太郎は鬼退治という壮大な目標を掲げ、その目標を達成するために能力



の違うリーダー達を選んだのだと。勇気があるキジが空から情報を収集し、知恵のある猿がキジからの情報を基に計画を作成し、最後は忠誠心の強い犬が忠実に作戦を実行する。桃太郎を中心にそれぞれの能力を持つ3人のリーダー達が、次々と寄せる波紋を鎮めながら目標へ進んでいく、理想のリーダー像がそこにはあったのではないかと。

福祉施設を運営するうえで大小様々な波紋が絶えることはなく発生している。リーダーシップとはトップの方向性に同調し自らも旗を振り、自らの力を最大限に生かせることであり。リーダーとは継続的に発生する問題を支え、波紋を鎮めることができる人間ではないかと。安倍首相やトランプ米大統領、両者を支えるリーダーは誰なのか、その能力は。今後の興味はそこになりそうです。

そしてこの施設でのリーダーは・・・その能力は。毎日施設に行くのが楽しみでならない今日この頃だ。

（埼玉県） 社会福祉法人 邑元会 常務理事 神戸 章



これからの社会福祉法人経営のために

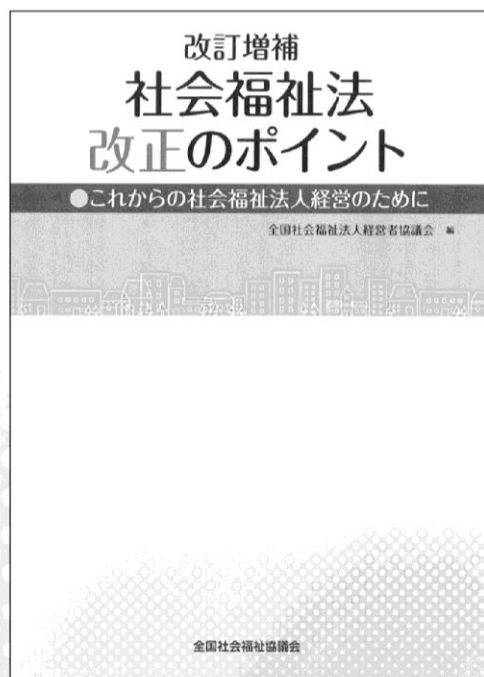
# 改訂増補 社会福祉法 改正のポイント

- 全国社会福祉法人  
経営者協議会 編
- B5版・320頁
- 2016年12月発行
- 定価 本体2,200円(税別)

- 11月に発出された社会福祉法等の一部を改正する法律による政省令の内容等を反映した増補改訂版。
- 平成29年4月1日に施行される定款変更、評議員、理事、法人役員の選任など、厚生労働省から示されているQ & Aの内容を網羅。

## 主な内容

- ・社会福祉法人の経営組織の見直し  
評議員の選任・職務、評議員会、理事の選任・職務、理事長の職務、理事会、監事の選任・職務、会計監査人の選任・職務 等
- ・事業運営の透明性の向上  
定款の変更、会計の原則、計算書類の備置き 等
- ・社会福祉充実残額・社会福祉充実計画



●お申込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会または下記へ●

■ 全社協出版部受注センター ■

TEL.049-257-1080 FAX.049-257-3111  
E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp

全社協

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 出版部

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2  
新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ

福祉の本出版目録

検索

▶▶ <http://www.fukushinohon.gr.jp>

## 注文申込書

●太枠内にご記入のうえFAXまたは郵送にてお申込みください●

		冊数	冊
送 付 ・ 請 求 先	ご住所	〒 ー	
	フリガナ		
	お名前		
	電話番号	( ) ー	
		倉庫	2・1
		掛率	
		得コード	

●ご記入の個人情報は、次の目的の範囲内でのみ使用させていただきます。  
⇒注文確認／商品発送／代金請求／入金確認／新刊案内／商品満足度調査

◎お届けまで1週間から10日ほどかかります(請求書同封)。図書代金のほか、下記のとおり荷造・送料を申し受けます。

1回のご購入額: 1,500円未満…400円 1,500円以上…500円 ※ただし、1回のご注文で10冊以上、または1万円以上ご購入の場合は送料サービス

## 会員の皆さま

本会ホームページには、本会で発行した成果物等を掲載しております。ぜひご活用ください。

《参考》平成27年度成果物

- ・ 本会20周年記念誌「未来を創る」

平成26年度成果物

- ・ 社会福祉法人経営検討委員会 平成26年度 活動報告書  
(総合実践ガイドライン／学校訪問授業促進に対する報告書)
- ・ 事業継続マネジメント実践の手引き
- ・ 生活困窮者支援に係る現況報告書

【URL】 <http://www.zenkoku-skk.ne.jp/report.html>

- 本メールニュースは、全国社会福祉法人経営青年会の会員の皆様を対象に、社会福祉法人を取り巻く課題とその動向、経営青年会の事業の取り組み等について情報提供するために、毎月1回程度発行しております。
- 購読は無料です。  
購読をご希望の方は、全国社会福祉法人経営青年会事務局まで  
【都道府県】【会員氏名】【メールアドレス】をお知らせください。
- メールニュースに関するご意見・ご要望につきましては、下記アドレスまでご連絡をお願いいたします。

【メール送信先】 zenkoku-seinen@shakyo.or.jp (担当：金繁・福野)